

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	冬の寒さを楽しむ「冬の大町温度差発電イルミネーション(仮)」事業
事業主体 (連絡先)	大町市 (民生部生活環境課環境保全係 0261-22-0420 (内線465))
事業区分	(2) ②自然エネルギーの普及・拡大
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	586,000円 (うち支援金: 404,000円)

事業内容

温度差を与える事で起電する熱電素子(半導体)を使い、冬期における雪や氷、冷涼な空気を冷熱源に用いて発電することで身近にある未利用自然エネルギーの存在や温度差発電について目に見えてわかりやすくPRするためのイルミネーション点灯と大人と子供向けに講演会を開催。

温度差発電の可能性のほか、寒冷地域における克雪・克寒、珍しい方法でのイルミネーション実施による観光振興や賑いの創出・地域振興、講演会を通して環境教育を図った。

「冬の寒さ・降雪」は生活の中ではとかく厄介者であるが、「恵み」として捉えられるよう温度差発電を応用して市民生活に役立てられるものへ発展できるよう考えるきっかけになればと企画した。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

信濃大町駅前や大町温泉郷など市民や観光客が集まるPR効果の高い場所でイルミネーション点灯を延べ50日程度実施したこと。また、大人と子供向けの講演会などを別々に開催したことや、「温度差発電」という不思議な発電方法をテレビや新聞等に取り上げていただいたこともあり、幅広い多くの方に「温度差発電」「自然エネルギー」等について普及・啓発できた。家族で市内外から観覧に訪れていただくなど賑いの創出に寄与できたほか、企業や一般の方からの問い合わせ、また今後の利活用の相談も寄せられ、効果の高いものとなった。

今後の取り組み

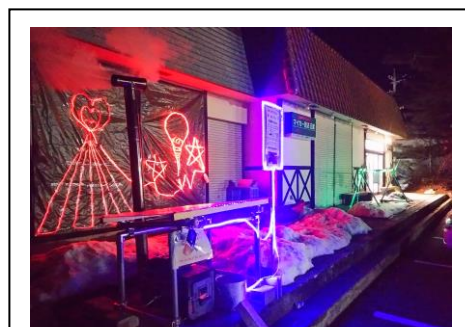
※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

製作した温度差発電簡易キットを継続的に活用し、イルミネーションのほか小中学校や博物館等で自然エネルギーの啓発、環境教育に役立てる。また、温度差発電が身近・手軽に実用的な発電ツールとして生活シーンや産業面などでも容易に活用され、冬期の降雪・寒冷地方ならではの発電方法として普及するよう今回の取り組みを契機に広くご意見を頂戴しながら多角的に検討し、引き続き取り組む。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【温度差発電イルミネーション】
平成29年2月 /大町温泉郷

【目標・ねらい】

- ①冬の寒さ・雪や氷を地域資源として捉え、活用する(克冬)
- ②自然エネルギーの普及・啓発
- ③地域主導型による新エネルギーの創出
- ④地域振興・観光振興・環境教育

※自己評価【A】

【理由】

温度差発電により大規模なイルミネーションに自治体に取り組んだ事例としては全国初であり、そのPR効果、自然エネルギーの普及・啓発、環境教育などに大きく寄与できた。